

## 独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金平成30年度 特に優れた業績による返還免除候補者の募集について

現代社会文化研究科所属で下記に該当する者について、標記返還免除候補者の募集を行います。

### 1 対象者

- (1) 平成30年度に奨学金の貸与期間が終了する者
- (2) 平成30年度に退学、辞退等により貸与が終了または終了予定の者

### 2 提出書類

- (1) 現代社会文化研究科における評価項目と評価点

黄色の用紙「日本学生支援機構第一種奨学金返還免除候補者の選考の基準について」が大学院現代社会文化研究科（以下、「大学院」という）で推薦（選考）する際の基準になります。記入例（緑色）を参考に、評価対象とする項目の「論文本数、実施回数等」を記入してください。

- (2) 業績優秀者返還免除申請書（様式1-1）、業績一覧表（様式1-2）及び指導教員等の推薦理由（様式1-3）について

- ・「大学院における研究課題等」欄には、特定の研究課題がない場合には、当該学生が課程の目的を達成しうる重要な教育について特に力を入れて取り組んでいるもの、例えば、実践的な教育にあつては事例研究、現地調査などの具体的な内容を記入してください。
- ・「教育研究活動等の業績」欄は、提出書類(1)で記入した業績項目に、鉛筆で○印を付してください。

業績項目がある場合は、それぞれ業績一覧表（様式1-2）に記入してください。博士前期学生の場合は「業績一覧表〔修士課程・専門職学位課程〕」の用紙を使用してください。記入例は博士前期学生も「業績一覧表〔博士課程〕」の記入方法を参考にしてください。特に業績がない項目は記入しないでください。

- ・学生が直接、指導教員に「推薦理由」の記載を依頼し、提出期限までに書類が準備できるよう注意願います。必ず指導教員等の推薦理由（様式1-3）が揃ってから提出してください。

※ 業績優秀者返還免除申請書（様式1-1）、業績一覧表（様式1-2）及び指導教員等の推薦理由（様式1-3）は、新潟大学全体で選考する際の基準になります。場合によっては大学院での推薦（選考）の後に、様式1-1、様式1-2について清書していただく必要があります。（その旨あらかじめご了承ください。）当係で確認の後、清書の必要がない場合はそのまま提出いたします。

- ・申請書には、大学院における特に優れた業績を証明する資料を必ず添付してください。  
(表紙右上に該当する業績項目名を鉛筆書きで記入すること)
- ・「資料番号」は、「業績を証明する資料」の右上余白にも鉛筆書きで記載してください。  
項目ごとに付する場合は、「項目名」と「資料番号」を鉛筆書きで記載してください。

その他、申請書下段の【記入上の注意】を熟読願います。

注：業績については、専攻分野に関連した業績のみ記載可能です。

(3) 提出書類(1)で記入した項目について、その業績を証明する資料 1 部

注：業績を証明する資料について

① 「論文」について

…修士論文・博士論文以外は、各自で論文掲載証明書等を取り寄せて添付してください。

② 「国際会議・国内会議での発表」について

…発表者、題目等が記載された開催案内等を添付してください。

③ 「授業科目の成績」について

…成績証明書は学務係で発行しますので、提出する必要はありません。

④ 「TA・RA」について

…担当教員から「研究又は教育に係る補助業務の実績」について押印された評価証明書を作成してもらい、提出してください。

⑤ 「ボランティア活動・その他の社会貢献活動」について

…学外第三者からの証明書等を添付してください。

なお、専門分野に関連した業績のみ記載可能です。

3 提出期限

平成 31 年 2 月 1 日 (金) 締切厳守

4 提出先

新潟大学人文社会科学系大学院学務係

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050

電話 025-262-7895, Fax 025-262-7457

## 5 その他

### (1) 添付書類について

- ・ 現代社会文化研究科における評価項目（記入例含む）※黄色の用紙
- ・ 業績優秀者返還免除申請書（様式1-1）、業績一覧表（様式1-2）、指導教員等の推薦理由（様式1-3）
- ・ 研究又は教育に係る補助業務の実績について（記入例）

### (2) 本研究科での選考（2月下旬）及び学内委員会（3月下旬～4月上旬）での選考を経て、日本学生支援機構へ推薦し、最終的に免除者が決定する時期は、2019年5月下旬の予定です。

### (3) 不明な点は、人文社会科学系大学院学務係にお早めにお尋ねください。